

CASE 19 日本原料株式会社

<http://www.genryo.co.jp/>

所在地：〒210 0005 神奈川県川崎市川崎区東田町 1 - 2 N K F 川崎ビル

事業内容：各種ろ過材の製造販売

売上高：23 億円

売上高経常利益率：1.2%

資本金：5,000 万円

設立：1939 年

従業員数：65 人（2005 年現在）

企業概要

1939 年創業の、水道用ろ過材の専門メーカー。日本の水道水の約 80% が日本原料のろ過材でろ過されている。社員のやる気の目は摘むことなく、「ブルーバード制」「21 世紀プロジェクト」「私の提案制度」「希望職場調査制度」など、社員のやる気を高める制度を次々と導入し、なによりも「社員のやる気」を大切にしている企業。

売上高の推移

売上高	経常利益	売上高経常利益	従業員数
H13 20 億	2,400 万円	1.2%	61 名
H8 17 億	700 万円	0.4%	71 名
H3 11 億	300 万円	0.3%	69 名

ポイント

- (1) 会社に幸せをもたらす青い鳥
- (2) 21 世紀プロジェクト
- (3) 希望職場調査制度
- (4) 社員のやる気の芽は摘まない

まとめ

現社長の齋藤氏が日本原料に入社した際、当社の社員の平均年齢が 57 歳だったということもあり、社長就任後は大胆な社員登用で高シェアを獲得してきた。特に「ブルーバード制度」は有名で、年齢・性別にとらわれずに、やる気・能力のある人材を早くから経営に参画させるというものである。若い社員に次々とチャンスを与え、社内の活性化を図っていることが、当社の成長発展の要因の一つとなっている。社員のやる気を引き出すことこそ、企業経営にとって重要であるということ、改めて感じさせてくれる事例である。